

第2次安曇野市図書館基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

- 1 実施期間
平成29年12月26日から平成30年1月24日まで
- 2 意見提出者
1人
- 3 意見数
4件
- 4 パブリックコメントに係る意見の要旨と対応
別紙のとおり

			し、職員の資質向上は、レファレンスサービスのみでなく市民の調査・研究全般を担うことから右記のとおり変更します。	ファレンスサービスを担う」を「調査・研究の支援を担う」
3	P 8 地域の教育力を高める活動の推進	小中学校校との連携強化に期待するが、一方的な資料の提供でなく、「学校の勉強に合わせた資料等を増やすこと、例えばその季節や時事問題に合ったコーナーを作ったり、学校でほしい資料等について相談する窓口を用意し、資料を提供するシステムを作ったら」との中学生議会での提言を具体化することがあってもよい。	学校図書館からの要望をお聞きしながら平成28年度からの学校調べ学習用図書整備事業を進めます。 また、現在、学校図書館司書部会に公立図書館職員が同席し、意見交換やご要望をお聞きしていますが、部内の連携をさらに図る取り組みを検討していきます。	原案のとおり
4	全般	中央図書館の新书推荐に「図書館と法」「学校図書館の教育力を活かす」「1からわかる図書館の障害者サービス」「インターネット時代のレファレンス」「図書館のこれまでとこれから」があり、これらの図書を参考にすればもっと具体的で説得力のある基本計画がまとめられるのではないかと	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 図書館施策については、最新の情報の収集に努め、また、市の関係部署と情報共有していきます。	

		<p>思う。学校図書館との連携については「市民タイムス」のコラム「教育革命？」（村澤勝熙）（2018年1月21日）が参考になる。</p> <p>テレビや新聞で気になる記事・紹介があると図書館で関連の資料があるか確認しており、現場の課題解決に役立つと思われる資料について担当課にもお知らせしているので、行政に関わる職員が利用する図書館となるべきである。</p>		
--	--	---	--	--